授業科目　相談援助演習Ⅴ

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	社会
河野　聖夫	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

【概要】
社会福祉士に求められる基本視点、知識、技術の習得を目指して、具体的な実践事例への取り組みや考察を図る。
主体的な取り組みと事例への考察・検討を通じて実践事例への考察力を高める。
実践（事例）場面に対する理解力、判断力を身につける。

【行動目標：SBO】
１.「自己覚知」の視点から考え振り返る
２.「相談援助の基礎知識」から実践事例を考察する
３.「相談援助の理論と方法」の視点から実践事例を検討し考えを述べる
４.「社会福祉の分野と専門性」の視点から実践事例を考察し理解を深める
５.「総合的かつ包括的な相談援助」の視点から考え判断する

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業の進め方や学習課題に関するオリエンテーション		講義・演習（アイス・ブレイキング）
2	模擬事例への取り組み１	12	個別演習
3	模擬事例への取り組み２	12	グループ演習　および　教員よりの解説・指導
4	相談援助事例への取り組み１	23	個別演習
5	相談援助事例への取り組み２	23	グループ演習
6	相談援助事例への取り組み３	23	成果発表　および　教員よりの解説・指導
7	分野別事例への取り組み１	34	個人演習
8	分野別事例への取り組み２	34	グループ演習
9	分野別事例への取り組み３	34	成果発表　および　教員よりの解説・指導
10	社会資源への取り組み１	45	グループ作業（事例検討）
11	社会資源への取り組み２	45	個人作業（事例検討）
12	社会資源への取り組み３	145	成果発表と意見交換
13	社会資源への取り組み４	145	成果発表と意見交換
14	社会資源への取り組み５	145	成果発表と意見交換
15	まとめ	１～５	教員よりの解説・指導等

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】
発表、成果ノート（レポート課題を含む）の内容に基づいて達成度や努力度を総合的に評価する。

【履修上の留意点】
少なくとも社会福祉士国家試験に対応できる専門用語や諸制度への理解が必要となるので、３年次までの学習内容を各自で復習して授業に臨むこと。主体性を持って自ら考え、調べ、理解を深める姿勢を持つこと。